



(写真は7月開催「あおりウィメンズアカデミー」より)

あおりウィメンズアカデミー 平川市で開講！ 学び・気づき・行動で自分カアッ！

『あおりウィメンズアカデミー』は、青森県男女共同参画センターが主催する、仕事や地域で活動の幅を広げたい女性を応援する学習の場で、平成28年度は平川市で開催されることとなりました。

10名の受講生が集まり、7月9日(土)には青森市のアピオあおりで開講式が行われ、7月24日(日)には平川市文化センターで青森県男女共同参画センター小山内世喜子館長による講義「社会保障制度と私の暮らし～女性が働くということは～」が行われました。

平川市では男女共同参画社会の実現に向け、いろんな分野に女性が参画することを推進しており、人口の半数以上が女性の平川市において、今後の地域活性化には女性のパワーが必要不可欠です。

今年度は、この男女共同参画情報誌『きあらひらかわ』で特集を組み、受講生の活躍等、アカデミーの開催状況を紹介していきます。

「きあら (chiara)」はイタリア語で「光り輝くもの」「よろこびをもたらすもの」を意味します。平川市男女共同参画推進プランの基本理念である「互いに認め、支えあう、男女(ひと)がきらめく平川市」のとおり、輝く未来を見つめながら性別にかかわらず一人ひとりがお互いを認め、自分らしさを十分に生かせる平川市をめざしたいという願いを込めています。

『奥入瀬サミット』・『日本女性会議』派遣事業

平成27年9月に十和田市で「奥入瀬サミット」が、また、平成27年10月に岡山県倉敷市で「日本女性会議2015倉敷」が開催されました。平川市ではそれぞれの会議に市民の方を派遣しています。参加された方のレポートをご紹介します。

『奥入瀬サミット2015』参加レポート

今井 静枝さん(柏木町)

十和田・奥入瀬溪流の豊かな自然の中でのサミットに期待に胸を弾ませて参加しました。ホテルで県内外の志高い女性たちと自然に交流が始まり、その積極さや知的好奇心に大いに刺激されました。

1日目は、脚本家の中園ミホさんと十和田市現代美術館アドバイザリーボードの小林ベーカー央子さんによる講演「逆境が私を育ててくれた」～女性たちの心へ贈るサプリメント～では、「失うことは恐ろしいことではなく、別な物で軌道修正のチャンスがいくらでもできる」という2人のトークが大変印象的でした。

また、ANA常務取締役の河本宏子さんによる講演「女性が輝く企業へ」では、「隠さず、誉め認め合い、応援しあい、プロとしてのスキルを磨き、個性が輝くことで男性の意識を改革し、自分達で自分たちを変え、女性が輝く企業にする」というお話を聞き、今後の方向性が見えました。

交流会では、ピアニストの熊本マリさんによるミニコンサートが行われ、優雅で特別な時間を楽しむことができ、青森県の自然豊かで新鮮な食材を活かした料理も堪能できました。

2日目は、産婦人科医の対馬ルリ子さん、美容家の吉川千明さん、栄養コンサルタントのエリカ・アンギャルさんによるトークセッション「これからも輝き続けるためのヘルスケアとライフスタイル」では、それぞれの立場からの貴重なお話を聞き参考になりました。

今回のサミットに参加して、参加者の皆さんとの交流で刺激を受けることで自分を見つめ直す良い機会を得ることができました。今後は、女性が輝く職場づくりを目指し頑張りたいと思います。

『日本女性会議2015倉敷』参加レポート

小山内 哲子さん(尾上)

「思いやり 男女（ひと）が集う 白壁のまち ～ライフステージとそれぞれの男女共同参画～」をテーマに、全国から約2,000人が集まり行われました。

1日目は、新しい和太鼓の音世界を目指す倉敷天領太鼓で幕を開け、内閣府男女共同参画局長の武川恵子さんによる「女性が輝く社会を目指して」の基調報告、NHKアナウンサーの武内陶子さんによる「魂の言葉を伝える～テレビの裏側・放送の現場から～」の記念講演が行われました。

武内さんはとてもはつらつとして輝いておりましたが、放送を提供している裏側では、たくさんの悩みや葛藤があり、路頭に迷っていた時があった。そんな時、故郷の湯ばあをきっかけに乗り越えられたと話しておりました。誰にも初心がある、ぶつかった時の戦略を忘れないで、次のステップへ繋いで欲しい、それを忘れない事が初心であると結んだ。初心を貫いた強さでとても輝いている姿に感銘を受けました。

2日目の分科会「地域で育む子育て環境～すべての子ども みんなで支え見守ろう～」は4人のパネルディスカッションがあり、特に倉敷市立郷内中学校教員の岩城弘三さんのお話が印象に残りました。

岩城さんは3児の父で、男性の育児休業が少なかった時代に、3人目の子どもを育児休暇を取得し、子育て奮闘した事により、誰からも得る事の出来ない貴重な経験と幸せを得る事が出来たと誇らしげに語っており感動いたしました。最後に、男性の方に育児休暇をぜひ取ってみませんかと声高らかに言いたいと結んでいました。

男性だから、女性だからという殻に閉じこもらずに、輝いている事が大事だと強く感じました。男性も女性も一人の人間として尊重され、その能力が発揮できる社会とするために、男女共同参画の社会に貢献出来るよう、微力ではありますが、携わって行けたらと思います。

○あなたの「男女共同参画川柳」や「コラム」を募集しています！

いただいた作品は「きあらひらかわ」の紙面で紹介します。応募先は次のとおりです。

〒036-0104 平川市柏木町藤山25-6 平川市役所総務課行政改革係(平川市男女共同参画推進会議 事務局)
TEL:0172-44-1111(内線1353) E-mail:gyoukaku@city.hirakawa.lg.jp